

ー令和4年度 水産多面的事業シンポジウムー

里海保全の最前線

2023年 **2月11日** (土)
 10:00～16:00 (9:00開場)
 東京大学大講堂(安田講堂)

500名
 (事前登録制)
参加無料
 当日ライブ配信

参加
申込

1/31までに下記URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://hitoumi.jp/event/event.php>

ひとふみ

QR

【アクセス】



正門までの所要時間

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)から徒歩9分
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)から徒歩8分
- ・湯島駅(地下鉄千代田線)から徒歩18分
- ・根津駅(地下鉄千代田線)から徒歩11分
- ・東大前駅(地下鉄南北線)から徒歩5分
- ・春日駅(地下鉄三田線)から徒歩8分

お問
い合
わせ

全国漁業協同組合連合会 関根・片瀬

TEL: 03-6222-1315

E-mail: info@hitoumi.jp

FAX: 03-6222-1361

プログラム

10:15～11:00 講演

演題: 脱炭素社会に向けたブルーカーボンの今後の展開

演者:

11:10～11:50 活動報告

【内水面生態系の維持・保全・改善】

盛川の環境を守る会(岩手県大船渡市)

【海の監視ネットワーク強化】

奥尻地区海の監視活動組織(北海道奥尻町)

13:00～14:00 活動報告

【藻場の保全】

葉山アマモ協議会(神奈川県葉山町)

【干潟等の保全】

美浜町漁場環境保全会(愛知県美浜町)

【サンゴ礁の保全】

恩納村美ら海を育む会(沖縄県恩納村)

14:10～15:50 ディスカッション

コーディネーター: 八木 信行 氏

(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)

主催: 全国漁業協同組合連合会 全国内水面漁業協同組合連合会 全国豊かな海づくり推進協会



図 2-4-1 事例報告会案内ポスター

表 2-4-3 事例報告会（シンポジウム）のプログラム

時刻	内容	備考
9：00～	開場・受付	
10：00～	開会、挨拶、オリエンテーション	挨拶：JF全漁連 水産庁 司会：JF全漁連
講演		
10：15～ 11：00	演題：「脱炭素社会に向けたブルーカーボンの役割と今後の展開（仮題）」 演者：国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 社会・生態系システム部 沿岸生態系グループ長 堀 正和 氏	
活動報告		<コーディネーター> 八木 信行 氏 （東京大学 教授）
11：10～ 11：30	【内水面生態系の保全】 ●盛川の環境を守る会（岩手県大船渡市）	
11：30～ 11：50	【国境・水域の監視、海の監視ネットワーク強化】 ●奥尻地区海の監視活動組織、奥尻地区海の監視活動組織 （北海道奥尻町）	
11：50～	休憩	
13：00～ 13：20	【藻場の保全】 ●葉山アマモ協議会（神奈川県葉山町）	
13：20～ 13：40	【干潟等の保全】 ●美浜町漁場環境保全会（愛知県美浜町）	
13：40～ 14：00	【サンゴ礁の保全】 ●恩納村美ら海を育む会（沖縄県恩納村）	
14：00～	休憩	
ディスカッション		
14：10～ 15：30	<コメンテーター> ・鹿熊 信一郎 氏（佐賀大学海洋エネルギー研究センター 特任教授） ・桐生 透 氏（元 山梨県水産技術センター） ・桑原 久実 氏（水産研究・教育機構水産技術研究所） ・崎長 威志 氏（広島県内水面漁業協同組合連合会 参与） ・玉置 泰司 氏（元 水産研究・教育機構 中央水産研究所 経営経済研究センター長） ・藤田 大介 氏（東京海洋大学大学院 准教授） <発表者> 活動報告を行った発表者が登壇します	
15：40～	挨拶、閉会	挨拶：全内漁連

表 2-4-4 ポスター事例

環境・生態系保全の事例

活動組織名	地域	主な活動内容
三石昆布組合	北海道新ひだか町	藻場の保全
石鏡地区藻場保全活動組織	三重県鳥羽市	
網代港地区海洋環境保全対策活動組織	鳥取県岩美町	
越ヶ浜藻場保全グループ	山口県萩市	
瀬川地区海渚を再生する会	長崎県西海市	
北斗市アサリ漁場環境保全活動組織	北海道北斗市	干潟等の保全
由良地区豊かな海づくり活動組織	兵庫県洲本市	
みんなの海を育てる会	高知県土佐清水市	サンゴ礁の保全
湯沢市河川愛護会	秋田県湯沢市・羽後町	内水面生態系の保全
敦賀河川を守る会	福井県敦賀市	
鏡川環境保全の会	高知県高知市	
野洲市びわ湖を守る会	滋賀県野洲市	ヨシ帯の保全

連携の事例

活動組織名	地域	主な活動内容
上ノ加江漁村文化伝承活動組織	高知県中土佐市	藻場の保全
名護屋地区藻場保全活動組織	大分県佐伯市	藻場の保全
名倉川環境保全ネットワーク	愛知県豊田市	内水面生態系の保全
北限域(内浦湾)の造礁サンゴ群落保全会	静岡県沼津市	サンゴ礁の保全

事例報告者の参加申込者は 390 名（事務局、関係団体、コーディネーターを除く）であり、「活動組織」が 80 名（20%）と最も多く、次いで「個人」が 73 名（19%）、「企業・NPO 等」が 57 名（15%）の順であった。

本報告会のテキスト（発表事例）を別冊資料 3 に、コーディネーター・コメンテーターと発表者との質疑応答（議事録）を資料編 9 に収録した。

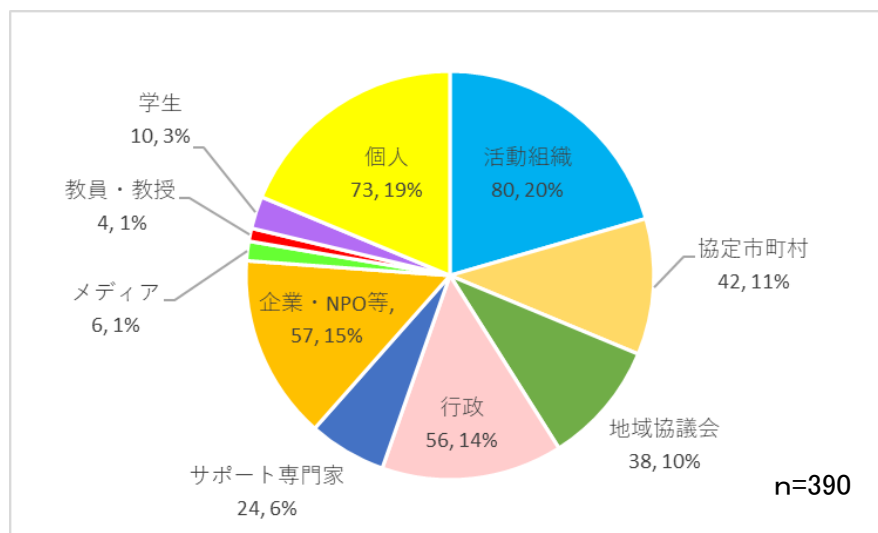


図 2-4-2 申込者の属性